

JAWLINE PP



デルタ ジョーライン PP RED ET

DELTA JAWLINE PP RED

HG942316

登録番号 NL667554861 2019.6.6生 血統濃度97%

血統			
ミンゴ P + ローレント P + ボルト + スノーマン			
NL622784625		NL622046493	
NL940147494		NL388965513	
デルタ ミンゴ P ET		アメリカン ノバスター RED	
		デルタ メルシー ET	
ホアンスター デルタ ジョリナ RED ET		マース ローレント P RF ET	
		146 ヘドラ デルタ ジョンカ ET	

NVI
119

生産寿命
267

INET
198

管理形質			
ロボット搾乳 効率性	106	ロボット 搾乳間隔	103
ロボット搾乳 順応性	101	分娩難易	103
娘牛の 繁殖性	101	娘牛の 分娩難易	103
泌乳の持続性	106	成熟度	116
体細胞	99	搾乳速度	105
気質	103	乳房の健康	100
蹄の健康	102		

能力 オランダ能力値(EBV)			
kg milk	144	% Protein	0.18
kg Protein	21		
% Fat	0.33	kg Fat	36



肢蹄・乳器改良

BLE 8%

BLH 2%

外付き後乳頭配置 ▶ 気質温和・搾乳速度、ロボット搾乳性良好

信頼度/99% 頭数/641 牛群/301

フレーム	103
乳用強健性	102
乳器	103
肢蹄	106
決定得点	106

高さ	低い	高い	99
強さ	弱い	強い	100
体積	浅い	深い	101
乳用牛の特質	欠く	富む	100
BCS	瘦	太	103
尻の角度	坐骨高	坐骨低	99
尻の幅	狭い	広い	97
後肢後望	寄る	平行	108
後肢側望	直飛	曲飛	103
蹄の角度	小さい	大きい	97
歩様	悪い	良い	106
前乳房の付着	弱い	強い	108
前乳頭の配置	外付	内付	100
乳頭の長さ	短い	長い	104
乳房底面の高さ	低い	高い	105
後乳房の高さ	低い	高い	99
中央靱帯の強さ	弱い	強い	94
後乳頭の配置	外付	内付	96

90 92 96 100 104 108 110

ロボット搾乳における管理形質について

2015年よりCRVより公表されているロボット搾乳性のデータは約1400軒ものロボットから日々収集分析され、育種価へ反映されています。(GGは2016年8月から)

効率性とは

ロボットに入室から退室までの間、**1分当たりの搾乳量(kg)**を偏差値で示したもの。

96=1.6kg/分 100=1.7kg/分 104=1.8kg/分

間隔とは

連続した**2回の搾乳が成功した時間間隔**を偏差値で示したもの。

偏差値が高くなれば1日のロボットへの入室回数が増える傾向を示します。

96=524分(8時間43分) 100=508分(8時間27分) 104=492分(8時間12分)

順応性とは

未経産牛が**ロボットに慣れる速さ**を偏差値で示したもの。

初回分娩直後(1~3週目)と泌乳後期(10~12週目)の平均搾乳間隔の差で求めます。

96=98分 100=89分 104=80分